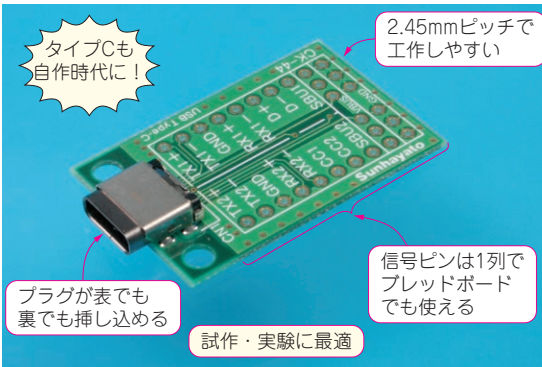


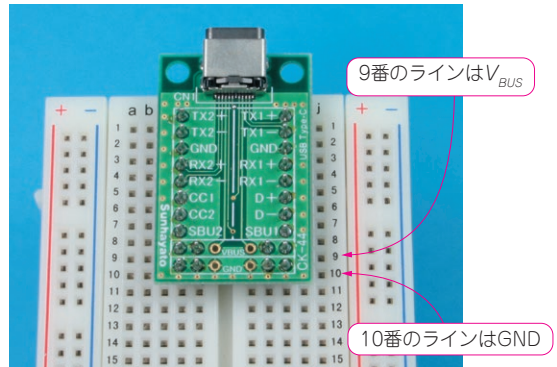
メカニズム解明実験①： 新定番USBタイプC接続

ご購入はこちら

菅原 尚伸



(a) 表裏気にせず挿せる



(b) 2.54mmピッチでブレッドボードも挿しやすい

写真1 1000円強で入手できて新定番USBタイプCの実験・製作に便利に使える変換基板も出てきた

USBコネクタ変換基板CK-44

■ 問い合わせ先：サンハヤト(株)

<http://www.sunhayato.co.jp/>

USB新規格タイプC登場

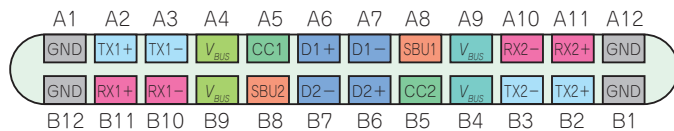
● メリット

PCにUSB周辺機器をつなごうとして、プラグがうまく挿し込めずにイラッとした経験はみなさんあると思います。そんなイライラを解消するため、プラグが表でも裏でもどちらでも挿し込める新しいコネクタ“USBタイプC”が登場しました!

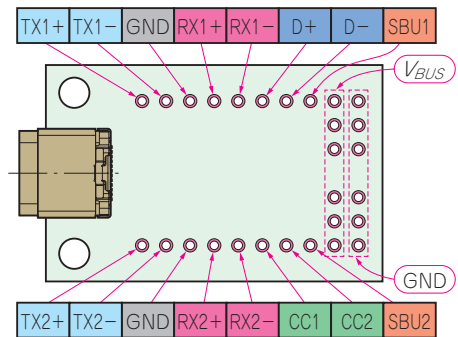
さらにタイプCは、急速充電を可能にする電力供給や、映像信号をいっしょに伝送する規格など、より便利な機能にも対応しています。

タイプCを採用した機器はまだ登場し始めたばかりですが、この規格は今後広く普及すると予想されています。

スタンダードB(Standard-B)やマイクロB(Micro-B)



(a) 表裏どちら向きにも挿せるタイプC(レセプタクル)



(b) 変換基板CK-44

図1 表裏どちら向きにも挿せるタイプCレセプタクルとUSBコネクタ変換基板のピン配置を比較する

といった従来USB機器のコネクタを、単純にタイプC(Type-C)化するだけでも次のようなメリットがあります。

- プラグの表裏の区別がないので接続が楽
- (ホストの仕様にもよるが) 1.5Aまたは3Aまでの電流が使える

従来USB機器でバス・パワー不足を感じている筆者は、特に後者のメリットに興味がありました。

しかしこれまで筆者は、タイプCに対応するには専用コントローラが必要なのではと思っていました。ところが実は専用ICなどは不要で、従来USB機器を簡